

令和5年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	須賀川桐陽高等学校	全日制

【前期選抜】普通科

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像				
普通科	10% 程度	<p>本学科では、「英知」の校訓の下、知性豊かで主体的に問題解決に取り組み、自己実現を図ろうとする人間の育成を目指し、次のような生徒を求めている。</p> <p>「学習の記録」が優秀で、上級学校への進学を希望し、本校が次に指定する部活動、(バスケットボール【男女】，バレーボール【女】，野球【男】，硬式テニス【男女】※，バドミントン【男女】，吹奏楽【男女】)においても顕著な実績または高い能力があり、入学後も部活動を継続し、学校生活全般においてリーダーとして活躍が期待できる者</p> <p>※ 硬式テニスにおいては、中学校時ソフトテニスの実績も対象とする。</p>				
選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 250点満点とする。	本校普通科への志望の動機、高校生活への抱負、卒業後の進路希望等について、志願理由書の指示にしたがって本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は135点満点とし、「特別活動等の記録」等は25点満点として、合計160点満点とする。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や部活動における高い能力等について、自らの考えを伝える表現力をみる。 面接については、点数化し、40点満点とする。	実技を実施する。 実技については、対象とする部活動に関する各種技能や基本的な身体能力をみる。 実技については50点満点とする。	全体の満点は、500点とする。	

令和5年度福島県立高等学校入学選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	須賀川桐陽高等学校	全日制

【前期選抜】数理科学科

特色選抜

大学科 小学科	募集 定員枠	志願してほしい生徒像				
数理科学科	40% 程度	<p>本学科では、「英知」の校訓の下、課題研究を中心とした探究活動を通し、思考力や創造性を育む教育を行っており、知性豊かで主体的に問題解決に取り組み、自己実現を図ろうとする人間の育成を目指し、次のような生徒を求めている。</p> <p>①「学習の記録」が優秀で、本校入学後も高い学習意欲と明確な目的意識を持ち、理系の国公立・私立の四年制大学への進学を志望する者、または、文系の国公立・私立の四年制大学への進学を志望する者は理系科目にも興味・関心のある者</p> <p>②学校外での学習面に関するコンテスト・コンクール等への参加や、英語検定・漢字検定・数学検定の3つの検定のうち、いずれかの検定で3級以上を取得、または同程度の能力を有していて、主体的に学習に取り組む意欲と向上心を持つ者</p>				
選 抜 資 料						
学 力 検 査	特色選抜志願理由書	調 査 書	特 色 面 接	特 色 検 査	選抜資料の満点	備 考
5教科とする。 傾斜配点を実施し、 数学・理科の2教科の 得点をそれぞれ1.5倍 して、300点満点とす る。	本校数理科学科への志望の動機、高校生活への抱負、卒業後の進路希望等について、志願理由書の指示にしたがって本人が記入する。	「各教科の学習の記録」は第1学年から第3学年の評定の合計に音楽、美術、保健体育、技術・家庭の第1学年から第3学年の評定の合計をさらに加えて195点満点とし、「特別活動等の記録」等は65点満点として、合計260点満点とする。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校での学ぶ意欲や中学校において積極的に取り組んだこと等について、自らの考えを伝える表現力をみる。 面接については、点数化し、40点満点とする。	実施しない。	全体の満点は、600点とする。	

令和5年度福島県立高等学校入学者選抜における選抜方法

別紙2

【調査票】

学校番号	学校名	課程
26	須賀川桐陽高等学校	全日制

一般選抜

大学科 小学科	募集定員	選 抜 資 料			学力検査と調査書の成績の比重	備 考
		学 力 検 査	調 査 書	一 般 面 接		
普通科	(200)	5教科とする。 250点満点とする。	「各教科の学習の記録」は195点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。 (各科共通)	実施しない。 (各科共通)	同等とする。 (各科共通)	
数理科学科	(40)	(各科共通)				

【後期選抜】

大学科 小学科	選 抜 資 料			備 考
	調 査 書	面 接	小論文（又は作文）	
普通科 数理科学科	「各教科の学習の記録」は135点満点とする。「特別活動等の記録」は点数化しないが、内容は精査する。	個人面接を実施する。 個人面接では、本校で学ぶ意欲や適性をみる。 面接については、段階評価する。	小論文を実施する。 与えられた資料に関して、関連する設問に答えるとともに、指示に従って自分の考えをまとめる小論文とする。 小論文については、50点満点とする。	